

【回答者：町長】

Q： 4月に母が亡くなり、実家も住む人がいなくなったためケーブルテレビを解約したところ、テレビ、FM放送などすべての放送を見ることができなくなりました。今はまだアナログ放送が続いているのでUHFアンテナを設置して見っていますが、これも来年3月末で終了することによって、来年4月以降はケーブルテレビでしか見ることはできません。

西会津町ではケーブルテレビ回線が全戸に引かれているので中継アンテナを設置しないことになったわけではないのでしょうか。隣の町ではUHFアンテナを設置すれば無料で見ることのできる地デジ放送が、西会津町では月1,500円も払わなければなりません。今は近くに住む兄が月に数回、私も年に2～3回は実家に帰ります。そのときのために年間18,000円も払いたくありません。地上デジタル放送を無料で見られるようにできないでしょうか。または、定住していない人のために月々の料金を安くしてもらうことはできないでしょうか。テレビ局は中継アンテナを設置する費用が要らないわけですから、テレビ局から補助を出してもらうということはできないのでしょうか。

(50代 男性)

A： 地デジ化移行にあたり、本町はケーブルテレビで対応しているため、デジタル中継局は設置しないというのがNHKおよび総務省の方針です。町では、こうした方針はご指摘の内容とあわせて、災害時の情報収集に必要であることからワンセグなどから受信が可能となる環境整備を強く要請しているところです。当面の間は、不定期で視聴されるのであれば、利用されない期間内を一時的に「休止」にするなどで対応していただきたいと思います。

回答日： 平成23年10月14日 担当課： 企画情報課

Q： 以前役場で行っていたアメリカシロヒトリの殺虫剤散布の再開をお願いしたく連絡しました。個人では、高い木には届かず、また一斉に散布しない限り他の植物に逃げて行き、近所迷惑になります。機械を個人で役場から借りられるそうですが、軽トラックがなく町内でも機械を運用する人が集まらないため、駆除できずに困っています。

(50代 女性)

A： アメシロは広葉樹に発生する害虫であり、防除方法は春・秋2回の殺虫剤散布が効果があるといわれています。地区的に病害虫の発生が異常に広がっているときは、その状態を確認して自治区で対応するなどの協力を要請していきます。また、個人使用できる簡易な散布機なども備えたいと思います。

回答日： 平成23年10月14日 担当課： 農林振興課

Q : 町営バス再編のお話をホームページにて拝見させて頂きお送りいたします。

一昨年、行きは徳沢駅から終点の弥平四郎まで乗客はずっと私だけ。帰りは、途中から本来の乗客である地域の小中学生が乗ってという状態で、確かにとても厳しい事情はある中、まずは夏期間のみ弥平四郎までを来年からの新体制でも引き続き夏期間は運行されるのか。町民の方以外も引き続き乗せて頂くことが可能な体制を取られるのかを教えてください。

また、登山客を対象にして事前予約制等の形で行きが徳沢駅か野沢駅で磐越西線の列車に接続して、弥平四郎着が午後2時過ぎ、帰りが弥平四郎発朝10時頃、ロータスイン経由徳沢駅または野沢駅行きで会員制バスまたは乗合タクシーを西会津町の主催で運行して頂けると、山に行く者としては助かります。祓川山荘というとても立地のいい山小屋と比較的楽な登山コースがありますので、公共アクセスを整備してシーズン前に発表や広報をして頂くと利用者はいるのではと考えますがいかかでしょうか。

(40代 男性)

A : 新たに導入する「デマンドバス」は、町外の利用者も事前予約をいただければ、誰でも利用することができます。利用方法については、今後町ホームページなどで分かりやすくお知らせいたします。基本的にはこれまでどおり列車時刻に合わせた運行ですのでご利用ください。

なお、登山者のための特別運行はありませんので、ご理解をお願いします。

回答日： 平成23年10月14日 担当課： 企画情報課

Q : 昨年頃、町に熊が出没して話題となっておりましたが、今年も秋頃から熊が出没する可能性は高いと思います。熊対策、またヒトに被害が出ないための対策として町ではどのような手だてを考えておられるのかお聞きできたらと思います。

(20代 男性)

A : クマがまちなかや民家に出没するようになったのは、昨年暮れからです。自然環境や気象の変化を原因とする極端なエサ不足によるものと思われます。このため、クマの生態と出没分布などについて県の指導を受け、森林環境の整備、町鳥獣害対策会議での連携や電気柵設置など有効な対策に取り組んでいます。

特に大切なことは、クマと人間の生活圏の境界を明確にする里山づくりを徹底することであり、クマ出没の原因を取り除いて山に帰す抑制策に重点的に取り組んでいます。

回答日： 平成23年10月14日 担当課： 農林振興課

Q： 現在の西会津町で職を求めている人、また仕事をしていない人（仕事がないとあきらめている人）は町でどの程度把握されていますか。なぜかという、この町には働く場所がないとよくいわれますが、最近求人をしている会社さんが結構あるように思えます。実際私の勤めている職場も、人材確保に苦戦しております。ハローワークに相談しても、西会津は求職者がほとんど無いようで、業務拡大を視野に入れても人材の確保が難しく、今一步を踏み出せないようです。

人の話では、定職に就いていない若い人は結構いるようだとは聞きますがどうなのでしょうか。

（40代 女性）

A： 長引く経済不況や東日本大震災、原発事故などによる県内企業の減少は雇用情勢に大きな問題となっています。県内でも会津地域は有効求人倍率も低く、特に若者（高卒）の就職率は落ち込んでいます。町内企業も同様で、一部職種によっては求人数もあるようですが、雇用条件の中で一致しないか、あるいは企業の求人要件に適合しないということが一番の原因であると思われる。

今後、就職希望者の現状、企業の実態や企業誘致などについて所管課を中心に、これまで以上に取り組みを強化していきます。

回答日： 平成23年10月14日 担当課： 商工観光課